

## 平成28年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」 における難波中学校の結果の分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成28年4月から7月末までの期間に、2年生を対象として、「実技に関する調査」と「質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、体力等の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの体力向上をめざしています。学校の現状や取組の参考にしていただきたいと思います。

### 1 調査の目的(全国体力・運動能力、運動習慣等調査に関する実施要領より抜粋)

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公私立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

### 2 調査の対象

- ・国・公・私立学校の中学校第2学年、中等教育学校第2学年、特別支援学校中学部第2学年の原則として全生徒
- ・難波中学校では、2年生 60名

### 3 調査内容

- ・生徒に対する調査

ア 実技に関する調査(以下、「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様)中学校調査では、以下の種目を実施する。

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ(※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択)

# 平成28年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート

大阪市立難波中学校

生徒数

60

## 平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール 投げ	体力合計点
男子	30.33	27.20	41.63	49.59	410.27		8.03	174.07	21.90	38.68
大阪市	29.29	27.51	40.96	51.76	411.55	83.43	8.09	191.49	20.42	41.25
全国	28.91	27.46	43.06	51.93	391.72	86.24	8.03	194.69	20.59	42.13
女子	24.78	22.45	45.64	44.05	294.89		9.25	140.78	12.65	45.53
大阪市	24.15	23.41	44.39	46.77	303.34	57.97	8.92	167.47	12.97	49.20
全国	23.75	23.48	45.46	46.60	288.51	58.80	8.83	168.28	12.85	49.56

## 結果の概要

男子は在籍数36人中実施したのは30人で、けが等の理由により全種目実施できなかった生徒が8人いた。女子は24人中23人が実施し、うち4人が全種目を実施できなかった。

男女とも「握力(筋力)」は大阪市・全国を上回ったが、「上体起こし(筋力・筋持久力)」「反復横跳び(敏しょう性)」「立ち幅跳び(瞬発力)」「体力合計点」は上回ることができなかった。「長座体前屈(柔軟性)」「持久走(全身持久力)」は平均的であった。

総合評価では男子の「A」割合が0%で、その分「E」が多かったので、分布が「E」に振っている。女子は「A」割合が0%ではなかったが、男子と同じように「E」に少し振っている。

## これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

今年度は、学校行事として位置づけ、教員全体で新体力テストを実施することができた。保健体育科だけではなく、すべての教員で実施する取り組みとして、体力向上に向けて学校全体として一体感を得ることができた。生徒たちも活動の様子を多くの教員に見てられることで、いつも以上の力を発揮しようと努力していたようにである。また、学校全体や各学年等での実施計画に基づき、学校行事や部活動(運動部)の充実を図ってきた。具体的には、体育大会、球技大会、一泊移住を計画的に実施し、体育大会では十分な力を発揮できた。また、地域の体育的行事(フレンズカップ・オブ・ナニワ)に向けて、3年生を中心に放課後、ソフトボールとバレーボールの練習を行った。日々の体育的活動では、昼休みのボール貸出しに多くの生徒が運動場で汗を流していた。

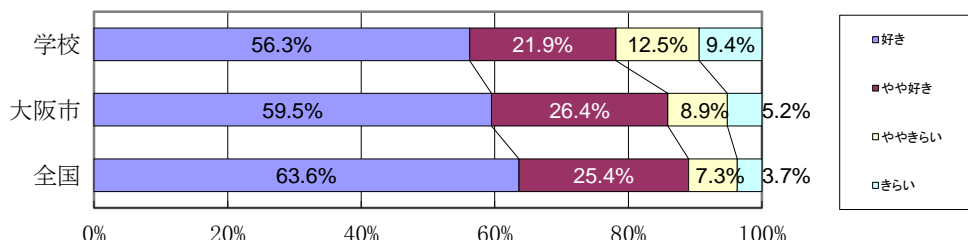
体育の授業では運動の楽しさや喜びを味わえるよう基礎的な運動の技能や知識を身につけさせることができるよう尽力した。今後は、タブレットやSURFACEに三脚があれば、活用の幅が広がると思われるので、導入をすすめていきたい。一方で、プロジェクターの使用も含めて他教科との連携が図れていないと感じることもあるので、担当者と連携してハード面を整えていきたい。次に、ICT機器の使用に関しては、まだまだ学習素材の不足があり、提示や見比べをしたいができないことも多くある。引き続き学習素材の収集に努めたい。何より、生徒が主体的に学習を進めることができるよう、学習内容のみならず学習方法への注意を促し、それぞれの生徒が自分にふさわしい学習方法を身に着けることができるようにしていきたい。

## 運動やスポーツについて（男子）

質問  
番号 質問事項

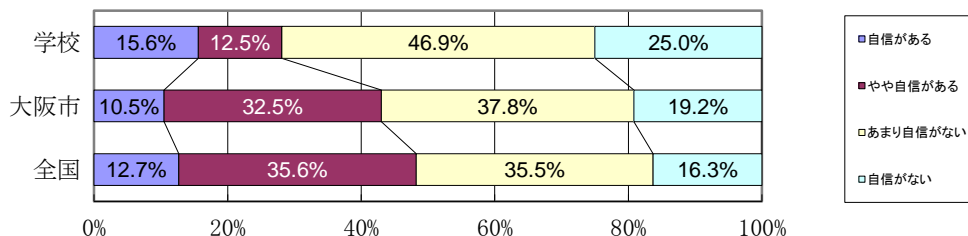
1

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



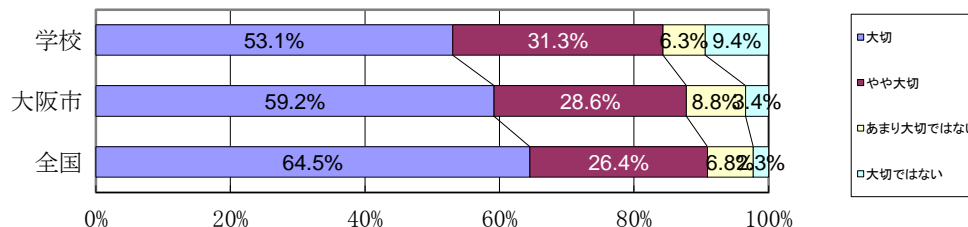
2

自分の体力に自信がありますか



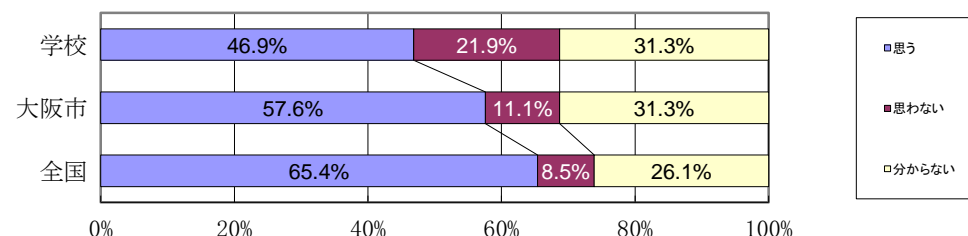
3

あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切ですか



4

中学校を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか



### 成果と課題

運動やスポーツをすることが好きである生徒の割合が全国・大阪市と比べて低い。体力に自信があるかという設問に対しては大きく割合が低い。また、運動やスポーツを大切と考える生徒も少なく、中学卒業後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思う生徒の割合も多いわけではない。運動部加入率が55.56%、外部のクラブチームに加入している生徒もいる。運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てる必要がある。

### 今後の取組

体育の授業を中心に運動の内発的な動機づけをおこない、生涯スポーツの一環となるよう心掛ける。何より、生徒が主体的に学習を進めることができるよう、学習内容のみならず学習方法への注意を促し、それぞれの生徒が自分にふさわしい学習方法を身に着けることができるようにしていきたい。

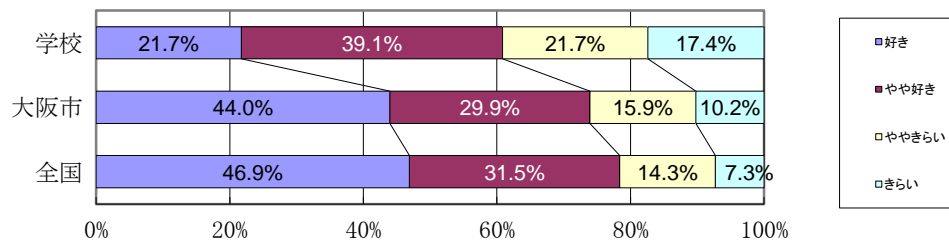
## 運動やスポーツについて（女子）

質問  
番号

質問事項

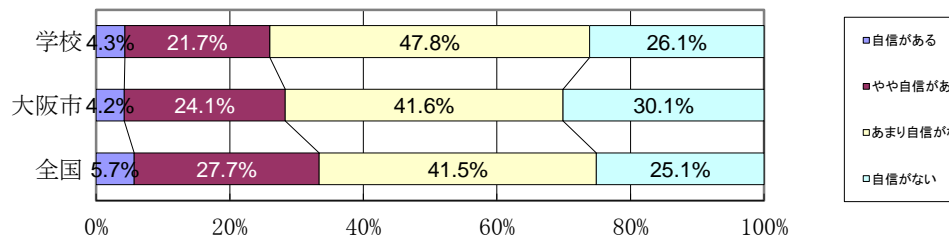
1

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか



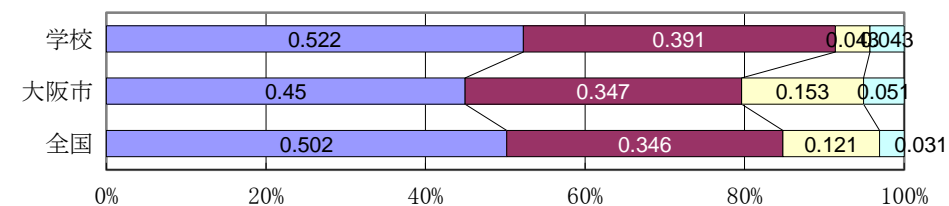
2

自分の体力に自信がありますか



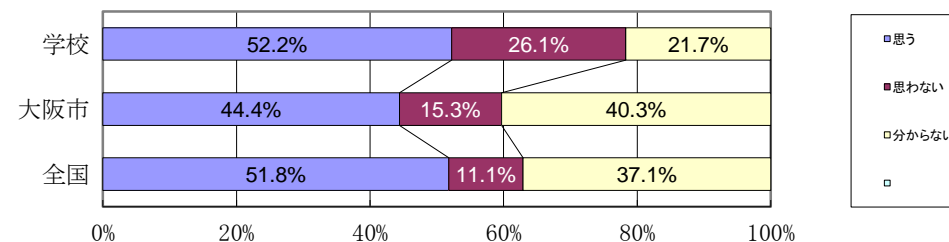
3

あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切です



4

中学校を卒業した後、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



### 成果と課題

(問1)運動やスポーツをすることが好きである生徒の割合が全国・大阪市と比べて低い。(問2)体力に自信があるかという設問に対しては大きく割合が低い。他学年に比べると、自主的に運動したり活発な生徒が少ない。ただし、(問3)運動やスポーツを大切と肯定的に考えている割合は高いので、苦手なりに大切だとは思ってくれているようだ。(問4)中学卒業後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思う生徒の割合が半数なので、保健の授業等も通して生涯にわたってスポーツを「楽しむ」ことを意識付けしていきたい。

### 今後の取組

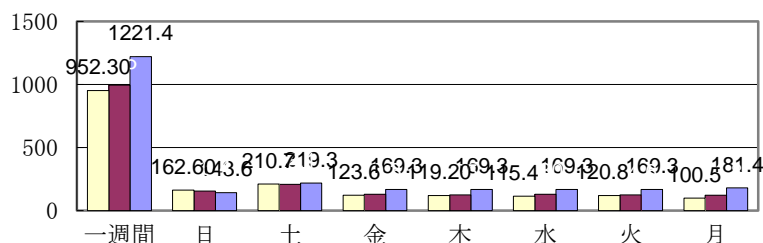
今年はICTを取り入れ、生徒の興味・関心を高めるような授業を展開することができた。自分のフォームを観察し、考えて行動することには積極的に行うことができたので、今後も導入していく。各学年の特性を捉え、記録にこだわらず、成功体験をさせてあげ、「楽しい」「またやりたい」と思ってもらえることが大切だと考える。

## ふだんの生活について（男子）

質問  
番号 質問事項

5-2

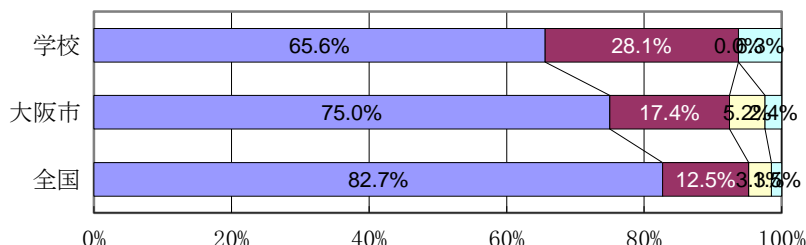
運動時間のうち、部活動に占める時間は、どれくらいですか。



□学校  
■大阪市  
□全国

6

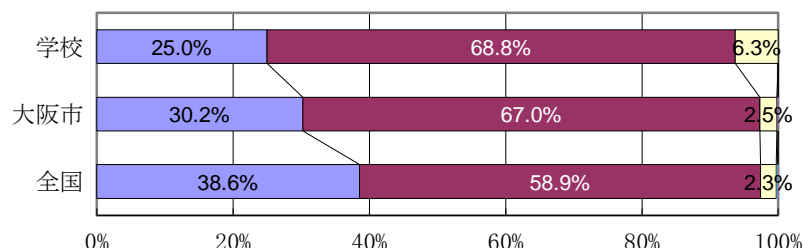
朝食は毎日食べますか。  
(学校が休みの日も含む)



□毎日食べる  
■食べない日もある  
□食べない日が多い  
□食べない

7

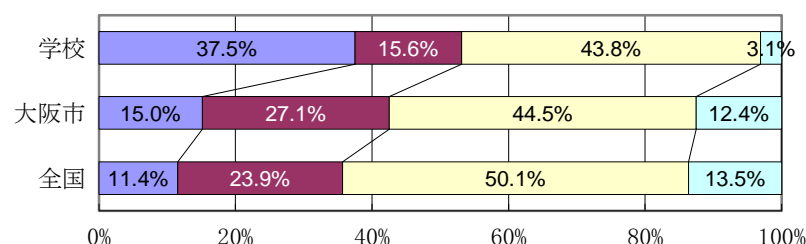
夕食は毎日食べますか。  
(学校が休みの日も含む)



□毎日決まった時間に食べる  
■時間は決まっていないが毎日食べる  
□食べない日もある  
□食べない日が多い  
□食べない

9

ふだんの平日(月一金曜日)について聞きます。1日にどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(テレビゲームをする時間は除く)



□5時間以上  
■3時間以上 5時間未満  
□1時間以上 3時間未満  
□1時間未満

### 成果と課題

運動時間のうち、部活動に占める時間が日曜日をのぞいて、全国・大阪市と比べて長い。運動部活動での運動が大変大きな機会となっている。一方、朝食については、毎日食べる生徒の割合が低く、朝食をまったく食べない生徒の割合が高い。夕食においても、食べない生徒はいないが、食べない日もあるという生徒が少し多い。また、平日にテレビやビデオ・DVDを1日に5時間以上見たり、聞いたりする生徒が1/3以上いる。

### 今後の取組

顧問会議はもとより、日常的に部員の様子を情報交換し、大阪市部活動指針に基づき円滑な運営やスムーズな転部等にそなえる。また、運動部に入ったものの参加できなくなった生徒や退部した生徒への支援を文化部とのバランスをはかりながらおこなう。朝食については、引き続き保健委員と連携して「早寝・早起き・朝ごはん」の取組みをすすめたい。夕食については、現在、保健委員が昼食後の歯磨き指導の取組みを実施しているので、少しずつ幅を広げて指導につなげたい。テレビ等の視聴時間については、運動の動機づけを保健体育の授業でおこない、減少に努める。

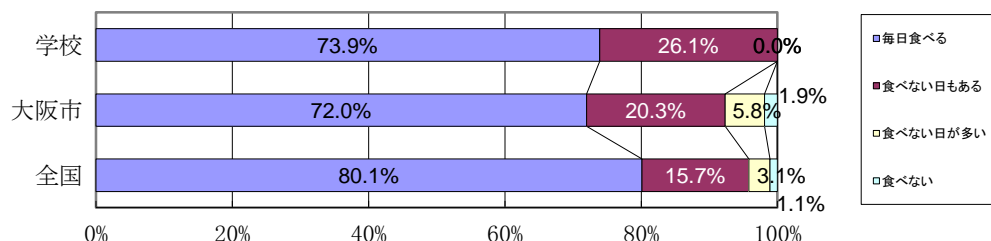
## ふだんの生活について（女子）

質問  
番号

質問事項

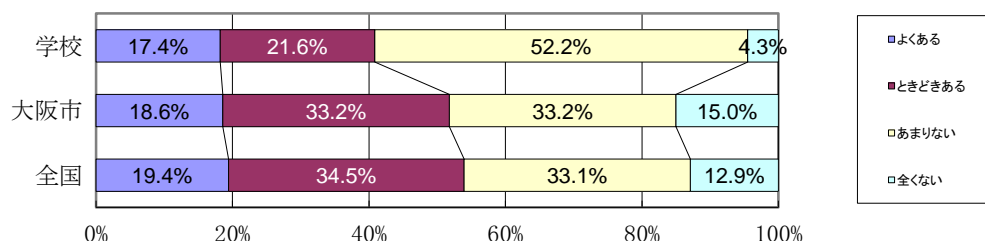
6

朝食は毎日食べますか(学校が休みの日も含める)



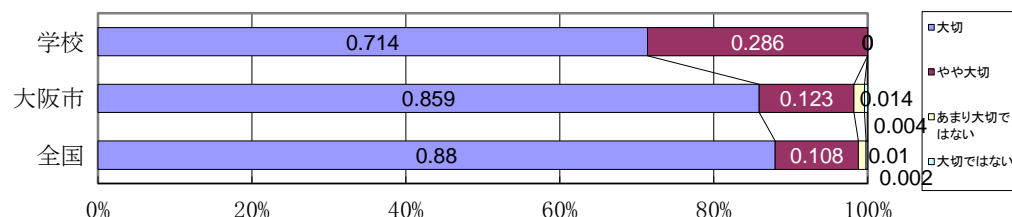
12

家の人から運動やスポーツを積極的に行うことを勧められることがありますか



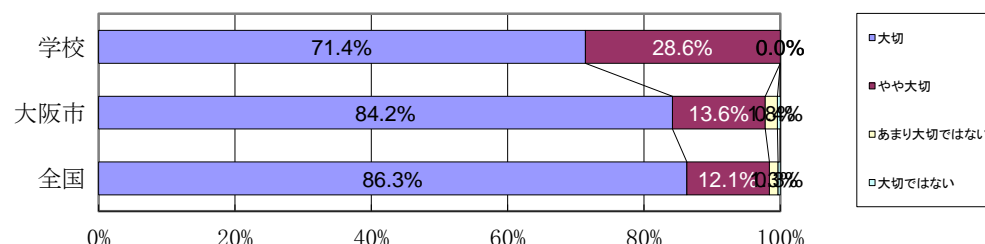
14

あなたが健康であるために食事をしっかり取ることはどのくらい大切だと考えていますか。



15

あなたが健康であるためによくねることはどのくらい大切だと考えていますか。



### 成果と課題

(問6) 7割の生徒が毎日朝食を食べている。しかし「食べない日もある」が3割で、起床時間が遅く食べれていないのか、週末に朝昼兼用になっていることが予想される。これが(問14)にも反映されていて、全国、大阪市に比べると低い。

(問12) 肯定的な意見が約4割であり、スポーツに興味関心が少ない保護者もいるようである。

(問15) 食事と同様、全国、大阪市に比べると低い。

### 今後の取組

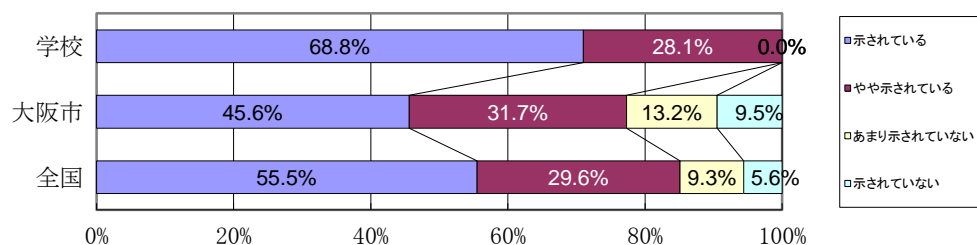
保健委員会の「早寝・早起き・朝ごはん」の取り組みは簡単な呼びかけとアンケートのみで終わってしまっているの、もう少し取り組み方を考えてもらう。「食事・睡眠」への否定的な意見はないが、将来を見据え、もう少し全体の意識を高める必要がある。スポーツへの関心については、PTAのソフトボールやバレーボールなどの活動も参加者が少なく、テレビで放送されているメジャーなスポーツも観戦率が高くないようである。まずは家庭への啓発も必要である。

## 保健体育の授業について（男子）

### 質問 番号 質問事項

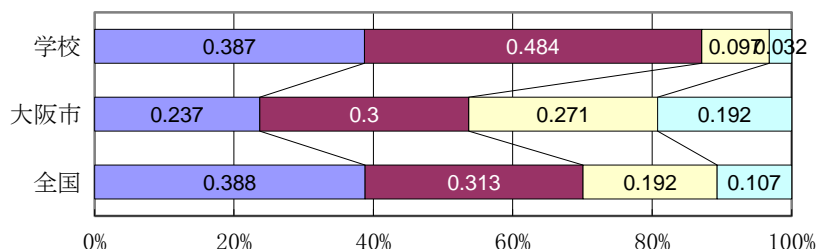
17

ふだんの保健体育の授業では、授業の始めに授業の目標(目当て・ねらい)が示されていますか。



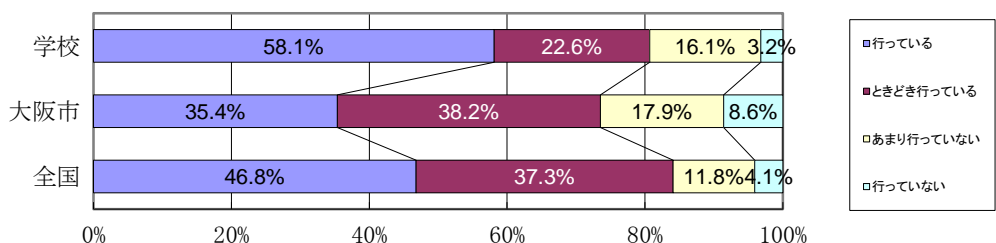
18

ふだんの保健体育の授業では、授業の最後に今日学んだ内容をふり返る活動を行っていますか。



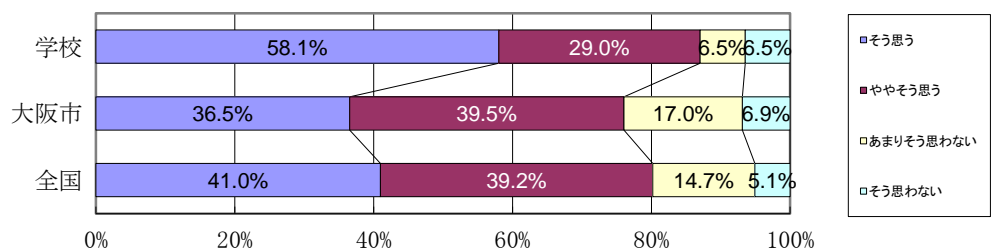
19

ふだんの保健体育の授業では、友達と助け合ったり、役割を果たすような活動を行っていますか。



23

今、保健体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いますか。



### 成果と課題

保健体育の授業で、授業の始めに授業の目標(目当て・ねらい)が示され、最後に今日学んだ内容をふり返る活動を行っていると感じている生徒が全国・大阪市の割合よりも多い。また授業では、友達との助け合い等において積極的に「行っている」、学習内容が「役に立つ」と思う生徒の割合も多い。授業に対しては非常に前向きに取り組んでいるが、運動・スポーツに対して消極的な意識を持っているので、自信をつけることが課題である。

### 今後の取組

タブレットやSURFACEに三脚があれば、活用の幅が広がると思われるので、導入をすすめていきたい。一方で、プロジェクターの使用も含めて他教科との連携が図れていないと感じることもあるので、担当者と連携してハード面を整えていきたい。次に、ICT機器の使用に関しては、まだまだ学習素材の不足があり、提示や見比べをしたができないことも多くあるので、引き続き学習素材の収集に努める。



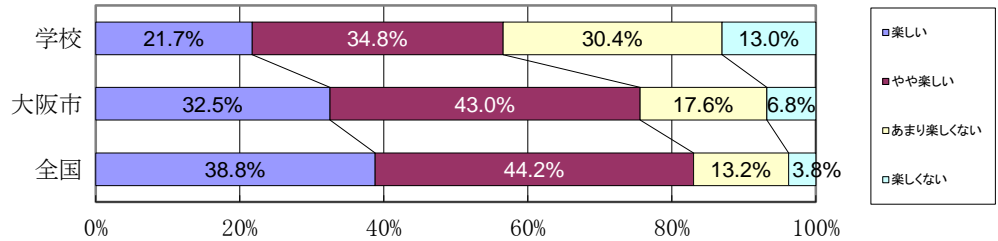
# 保健体育の授業について（女子）

質問  
番号

質問事項

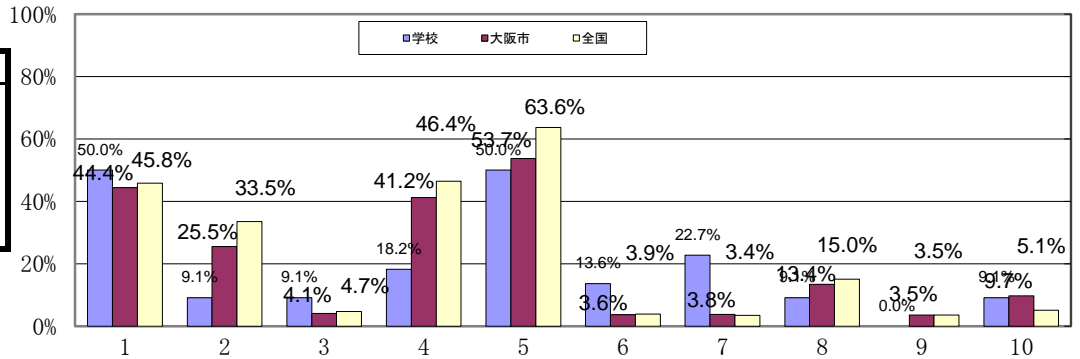
16

保健体育の授業は楽しい  
ですか



21

これまでの体育の授業で  
「できなかったことができる  
ようになった」きっかけ、理  
由はどのようなものがありま  
したか

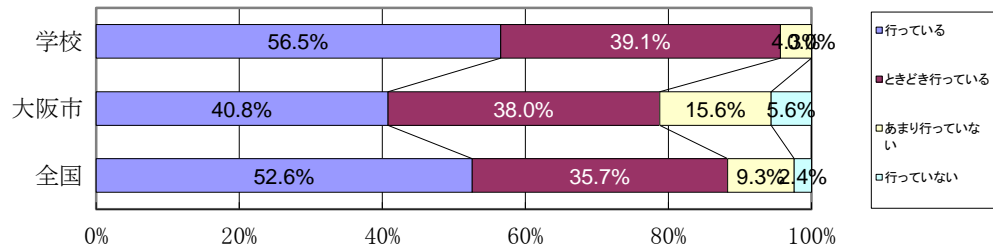


- 1 授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
- 2 授業中自分で工夫した
- 3 自分に合った場やルールが用意された
- 4 友達に教えてもらった
- 5 先生や友達のまねをしてみた
- 6 授業中に自分の動きをビデオで見た
- 7 授業外で先生に教えてもらった
- 8 授業外で自分で練習した
- 9 授業外で自分で本やビデオを見た
- 10 できるようになったことがない

- 2 授業中自分で工夫した
- 4 先生や友達のまねをしてみた
- 6 授業中に自分の動きをビデオで見た
- 8 授業外で自分で練習した
- 10 できるようになったことがない

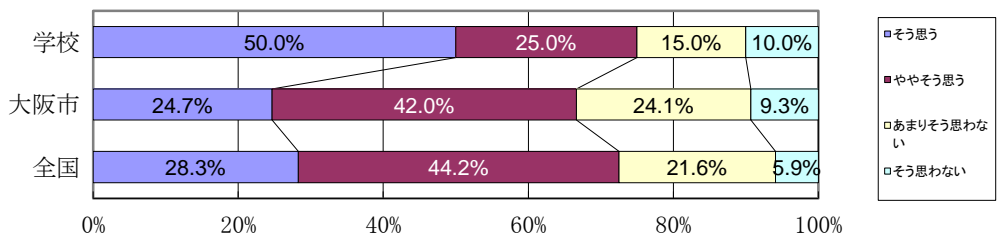
19

ふだんの保健体育の授業  
では、友達と助け合ったり、  
役割を果たすような活動を行  
っていますか。



23

今、体育の授業で学習して  
いる内容は、あなたの将来  
に役に立つと思いますか。



## 成果と課題

(問16) 肯定的な意見が6割を切っている。

(問19, 21) 肯定的な意見が多く、先生や友だちに教えてもらったという意見が多い。

(問23) 肯定的な意見が7割以上と全国・大阪市を上回った。授業では積極的に動く生徒は少ないが、全体的に一生懸命に取り組んでいる。

## 今後の取組

グループ活動をたくさん行ったので、リーダーシップがとれる生徒が増えてきて、仲間意識が高まってきている。また落ち着いていることもあり、グループ活動の中でタブレットを使用したりと、新しい取り組みにチャレンジすることができた。自分のフォームを見ることで、改善点がより分かりやすくなり、生徒の意欲を高めることができた。ただし、準備時間などのタイムロスや材料不足と改善点がたくさんあるので、研修等を通して身に付けていきたい。



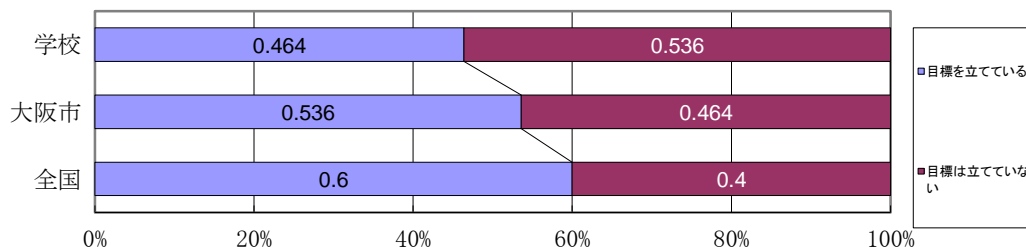
## その他（男子）

質問  
番号

質問事項

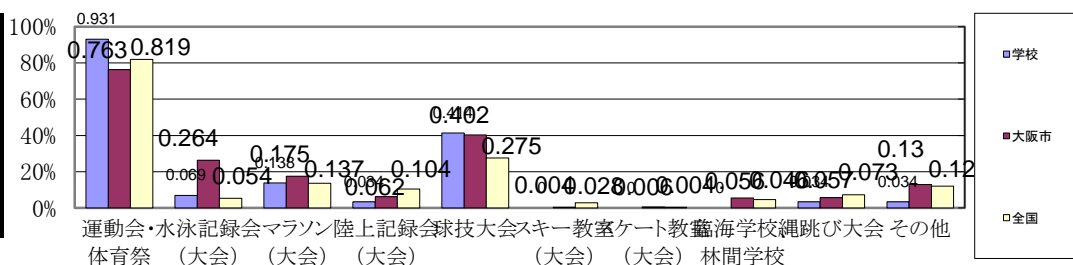
27

体力テストの結果や体力の向上について、自分なりの目標を立てていますか



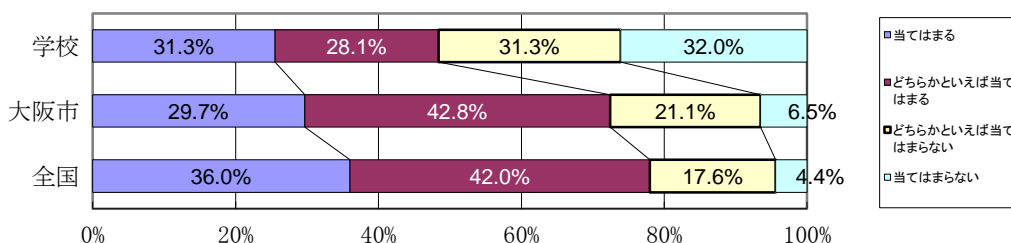
28

学校で行う運動会などの行事で、目標をもって取り組んでいるのはどれですか。学校で行事の名前が違っていても、近いものを全て選んでください



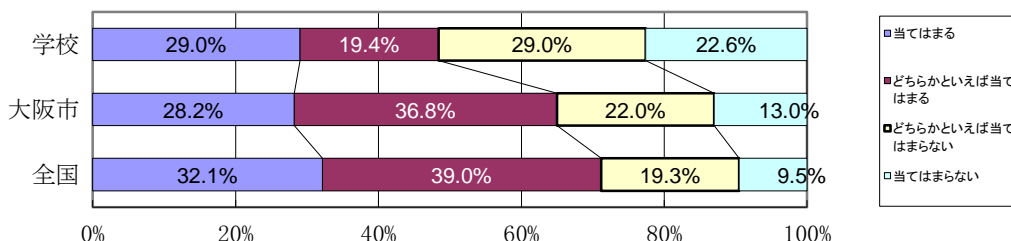
31

難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している



32

自分には、よいところがあると思う



### 成果と課題

体力テストの結果や体力の向上について、自分なりの目標を立てている生徒の割合が低い、運動会や球技大会では、目標をもって取り組んでいる生徒が多い。しかし、挑戦心や自尊感情が低い生徒が多いのが課題であるといえる。

### 今後の取組

自尊感情を高めるために、さまざまな場面で生徒のよさを見つけ、そのよさを意義づけをしたり、他者からの評価を受ける場面を設定したりして、生徒自身が自分のよさに気づくことができるようにする。また、生徒のアイデアを生かした取組みを認め、賞賛し、意欲を高めて次の活動につなげられるようにしたい。何より、生徒が自主的・自発的に活動する場面を設定し、生徒が責任をもって最後まで取り組めるよう生徒を励まし、生徒に達成感や充実感を持たせるようにする。

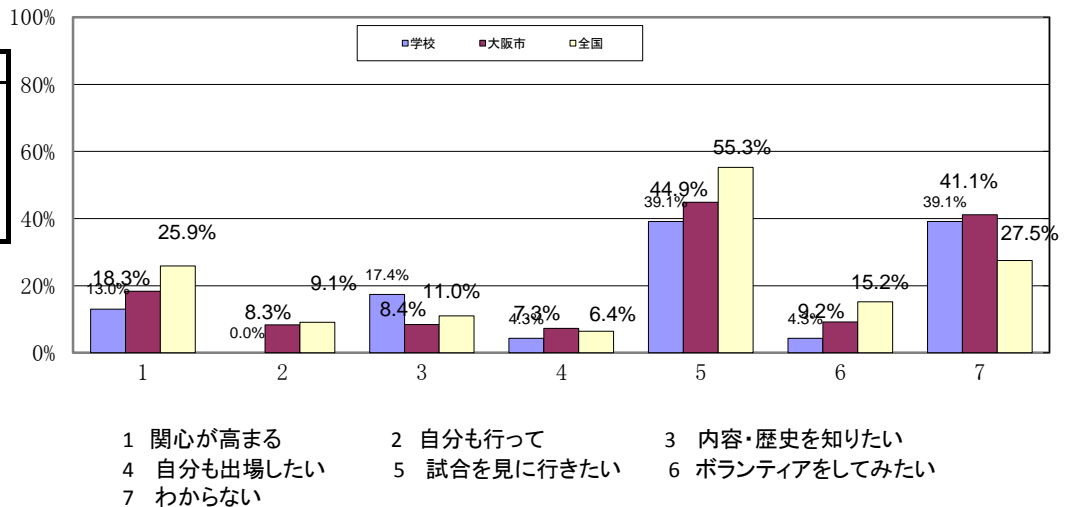
## その他（女子）

質問  
番号

質問事項

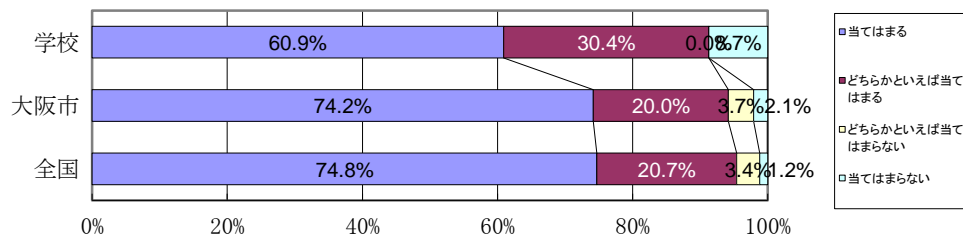
29

オリンピック・パラリンピックへの気持ち



30

ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある



### 成果と課題

（問29）「試合を見に行ってみたい」の割合が高い一方、「わからない」の割合も高いので、2極化が見受けられる。昨年行われたリオオリンピックについては授業でも話題にあげ意義づけを行ってきた。また夏休みの宿題ではオリンピックについてのレポートを出し、調べ学習を取り入れた。

（問30）「当てはまる」の割合が6割と、成功体験が少ないのか、自信がないようである。

### 今後の取組

2020年には東京オリンピックが行われるので、さらに意識づけを行っていく。興味を持たないことには、観戦しても楽しくないので、普段触れることのない競技のルールや歴史などの学習機会をつくっていく。成功体験を増やし、褒めて伸ばす授業展開が必要だと考える。完成形を目指すのが理想だが、個々の目標を立て、それを達成できたらいいのだと、一定のラインをクリアできるような働きかけを行っていく。